

## 横浜市PFI事業進捗状況等確認調査 要約【進捗状況・財務状況・所管局による評価など】

事業名	横浜サイエンスフロンティア高校整備事業 [横浜市科学技術高等学校(仮称)整備事業]	横浜市環境創造局 北部汚泥資源化センター 消化ガス発電設備整備事業	横浜市瀬谷区総合庁舎及び 二ツ橋公園整備事業	川井浄水場再整備事業	戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業 に伴う公益施設整備事業	横浜市南部汚泥資源化センター 下水汚泥燃料化事業
所管局課	教育委員会事務局 高校教育課	環境創造局 北部下水道センター	市民局 地域施設課	水道局 浄水課	市民局 地域施設課	環境創造局 下水道設備課
PFI事業者	横浜サイエンスサポート(株)	(株)bay eggs	グリーンファシリティーズ瀬谷(株)	ウォーターネクスト横浜(株)	アートブレックス戸塚(株)	(株)バイオコール横浜南部
構成企業 (一番上欄は代表企業)	戸田建設(株) 国際ビルサービス(株) 馬淵建設(株) 三菱UFJリース(株) (株)松田平田設計	JFEエンジニアリング(株) 東芝インフラシステムズ(株)	大和リース(株)横浜支店 (株)ハリマビシステム (株)共立	メタウォーター(株) メタウォーターサービス(株) 三菱UFJリース(株) 月島機械(株) 東電パワーテクノロジー(株) 東京電力エナジーパートナー(株)(東京電力(株)から継承)	三菱UFJリース(株) 鹿島建設(株) (株)ハリマビシステム (株)共立 ココヨマーケティング(株)	電源開発(株) 月島機械(株) 月島テクノメンテサービス(株) バイオコールプラントサービス(株)
協力企業	(有)今関商店		鹿島建設(株)横浜支店、(株)NTTファシリティーズ (株)環境デザイン研究所、(株)日本レストランエンブラヴ	鹿島建設(株) (株)東京設計事務所	(株)東畑建築事務所横浜支所 (株)レストランモア	太平洋セメント(株)
進捗状況(令和元年3月末時点)						
設計	○	○	○	○	○	○
建設	○	○	○	○	○	○
維持管理・運営	○	○	○	○	○	○
事業終了	—	—	—	—	—	—

令和元年度の進捗状況						
【統括管理業務】 ・学校運営に支障となる事象の発生はなく、モニタリングの結果も良好で、規定どおりのサービス対価の支払がなされている。  【維持管理業務】 ・建物・設備・植栽等の維持管理、修繕業務を実施  【運営業務】 ・食堂及び売店の運営にあたっては、衛生管理に特に注意を払い、日常点検等を実施し、良好な状態を保持している。	【維持管理業務】 ・年間を通じて大きなトラブルはなく、その他のトラブルについては迅速な処置を実施することにより、運転信頼度の向上に努めた。 ・損益は順調に推移し、売り上げ276百万円、当期純利益12百万円を達成することができた。  【運営業務】 ・平成22年1月に全5台(1~5号機)を稼働による運営を開始して以降10年が経過し、事業計画における運転時間(20年間)の約50%以上を終了した。 ・各エンジンの総運転時間は計画65,000時間に対し、67,000時間を超え、2号機(7月)、4号機(4月)、5号機(6月)はE点検を実施した。	【維持管理業務】 ・日常点検・月次点検において、年間計画に基づき業務を実施し、予定通り完了した。 ・特に大きな事故・トラブル等もなく維持管理業務を遂行した。  【運営業務】 ・公会堂運営業務実績 稼働率(日割り) 91.0%(前年度 84.9%)6.1%増 利用者数 71,601人(前年度 74,982人)3,381人減 利用料金収入 9,443千円(前年度 10,210千円)767千円減 ・コンプライアンス・個人情報保護法・ヘイトスピーチ解消法についての研修を実施。  【その他】 ・食堂・売店の利用者人数と売り上げは以下のとおり。 利用者人数 33,371名(前年度 35,841名)2,470名減 売上 15,908千円(前年度 16,666千円)758千円減 1人当たりの売上476円(前年度464円)12円増	【維持管理業務】 運転管理業務、保全管理業務、水質管理業務、災害・事故対策業務、安全衛生管理業務、施設公開業務、保安業務、清掃業務を実施。	【維持管理業務】 ・日常点検・月次点検において、年間業務計画に基づく作業は完了した。 ・特に大きな事故・トラブル等もなく業務を遂行。  【運営業務】 ・区民文化センター(25年8月31日閉館) 利用者数:150,171人(前年度比2,567減) 収入:50,506千円(前年度比3,426千円減) ・駐車場 利用台数:137,317台(前年度比4,651台増) 収入:23,060千円(前年度比254千円増) ・食堂 利用者数:46,776人(前年度比235人減) 収入:38,407千円(前年度比1,823千円減) ・多目的スペース 稼働率:90.1%(前年度比7.3ポイント減) 利用料金収入:8,912千円(前年度比995千円減)	【建設業務】 ・「改正大気汚染防止法」対策のため、水銀対策設備の設置工事を実施した。設備は令和2年3月に完成し、規制を満足することを確認した。  【維持管理業務】 ・燃料化設備の日常点検および定期修繕等  【運営業務】 ・下水汚泥受入量:41,815.25[t/年](計画41,250t 計画比101%) ・燃料化物製造・出荷量:7,669.00[t/年](計画6,350t 計画比121%) ・温室効果ガス削減量:4,700[t/年](計画5,200[t-CO2/年] 計画比90%)	
令和元年度の財務状況					(単位:千円)※千円未満は切り捨てて表示	
損益計算書						
売上高	688,486	275,622	202,108	1,133,011	655,459	1,087,589
経常利益	9,632	21,190	5,137	55,787	35,060	22,075
当期利益	11,584	14,886	3,824	36,857	24,049	14,464
貸借対照表						
総資産	1,131,294	780,572	3,724,765	9,895,160	3,200,799	3,005,790
総負債	958,622	572,647	3,607,606	9,826,732	2,819,161	2,981,677
純資産	172,671	207,924	117,158	68,428	381,638	24,112
うち資本金	10,000	30,000	30,000	100,000	50,000	50,000

所管局による評価						
事業面	・最後の年度になるが、コロナ禍の影響で日程に調整が必要であったものの、施設管理はほぼ順調に実施されている。 ・懸案個所の修繕等についても問題なく実施されている。 ・建築後10年が経過し、諸所に傷みが出始めているが、可能な限り迅速な対応がなされていると評価している。	・電力及び温水の供給等は適正に行われ、業務目標が達成されたことが確認された。 ・年間の取引電力量が計画値を若干上回った。熱供給量については、ほぼ計画値となった。また、消化ガスの有効利用率はほぼ計画値であり、バイオマスエネルギー有効利用による電力の地産地消に貢献できたものと考えられる。 ・2・4・5号機の各エンジンについてE点検が実施された。点検中は対象号機が長期停止されたため、通常時より少ない台数での運転となったが、各号機のスケジュール調整等により無事終了した。	・維持管理・運営上の大きな問題はない。 ・突発的なトラブル等についても、迅速に対応している。	・ほぼ計画どおり維持管理業務を問題なく行った。	・維持管理・運営上の大きな問題はない。 ・食堂の利用状況について、利用者・収入ともに減となっている。引き続き経過を注視していく。	・年間汚泥処理量42,000tを達成した。 ・平成30年4月1日より施行された改正大気汚染防止法に定める規制に対応するため、水銀対策設備の設置工事を実施した。設備は、令和2年3月に完成し、規制を満足することを確認した。
財務面	・問題ないと考える。	・昨年度と比較し売上高は減少している一方、利益は増加しており、良好な実績をあげている。 ・事業は順調に推移し良好な財務状況にあるといえる。	・特に大きな問題はなかった。	・財務状況は、ほぼ計画どおり安定的に推移しており、財務上の問題、あるいは今後の経営に影響を及ぼすと思われる懸念や疑義は発生していない。	・特に大きな問題はなかった。	・金融機関との直接協定に基づいて財務チェックを行っており、問題がないことを確認している。
その他	—	—	—	—	—	—

事業名	みなとみらい21中央地区20街区 MICE施設整備事業	横浜市北部汚泥資源化センター 汚泥処理・有効利用事業	みなとみらい21中央地区20街区 MICE施設運営事業	横浜文化体育館再整備事業	上郷・森の家改修運営事業	横浜市立十日市場小学校整備事業(参考)
所管局課	文化観光局 MICE振興課	環境創造局 下水道設備課	文化観光局 MICE振興課	市民局 スポーツ振興課	市民局 地域施設課	教育委員会事務局 教育施設課
PFI事業者	(株)横浜グローバルMICE	(株)横浜Bay Link	(株)横浜国際平和会議場	(株)YOKOHAMA文体	上郷フォレストPFI(株)	十日市場スクールサービス(株)
構成企業 (一番上欄は代表企業)	(株)竹中工務店 (株)小俣組 日本管財(株) 三菱UFJリース(株)	JFEエンジニアリング(株) 奥多摩工業(株) (株)デイ・シー 東芝インフラシステムズ(株) 奥多摩建設工業(株)	—	(株)電通グループ (株)フジタ、大成建設(株)、日本管財(株) (公財)横浜市スポーツ協会、(株)梓設計 川本工業(株)、馬淵建設(株)、(株)渡辺組 スターツコーポレーション(株)	(株)紅梅組 フロンティアコンストラクション&パートナーズ(株) (株)R.project、石井造園(株)	大成建設(株) 大成有楽不動産(株) (株)東急コミュニティー 土志田建設(株)
協力企業	(株)佐藤総合計画	横浜改良土センター(株)	—	(株)アーキボックス、(株)ハリマビステム、(株)電通東日本、 (株)テレビ神奈川、(株)神奈川新聞社、横浜エフエム放送(株) (株)ディー・エヌ・エー、(株)横浜アリーナ	相鉄企業(株)、(株)デザインの森、エバラ食品工業(株)	
進捗状況(令和元年3月末時点)						
設計	○	○	—	○	○	○
建設	○	○	—	○	○	○
維持管理・運営	—	一部	開業準備	—	○	○
事業終了	—	—	—	—	—	○
令和元年度の進捗状況						
	<b>【統括管理業務】</b> ・統括マネジメント業務 ・総務・経理業務 ・事業評価業務  <b>【設計業務】</b> ・各種関係機関等との調整業務 ・設計及び関連業務  <b>【建設業務】</b> ・建設業務及びその関連業務	<b>【設計業務】</b> ・既設5号焼却炉(水銀対策設備追加)、汚泥燃料化施設(水銀対策設備追加)に関する設計および機器調達業務の全て ・新1号焼却炉に関する設計業務の全て ・新1号焼却炉に関する機器調達業務のうち、乾燥排気処理塔の製作  <b>【建設業務】</b> ・既設5号焼却炉(水銀対策設備追加)、汚泥燃料化施設(水銀対策設備追加)に関する建設業務の全て ・既設3号炉撤去工事 ・旧改良土プラント解体撤去完了 ・既設5号焼却炉及び汚泥燃料化施設への水銀対策設備追加工事完工(令和2(2020)年3月25日引渡し)  <b>【維持管理業務】</b> ・既設焼却炉、汚泥燃料化施設、改良土プラントの日常点検および定期修繕等  <b>【運営業務】</b> ・市から供給された消化汚泥等の処理 既設焼却炉および汚泥燃料化施設において、年間総計115.697t 第1四半期(30,489t)、第2四半期(26,992t)、第3四半期(28,474t)、第4四半期(29,742t)	<b>【統括管理業務】</b> ・統括マネジメント業務 ・総務・経理業務 ・事業評価業務  <b>【開業前準備業務】</b> ・広報・誘致 ・スタッフ研修 ・関係者とのスケジュール等調整	<b>【設計業務】</b> サブアリーナ(横浜武道館) ・設計対応 メインアリーナ ・基本設計  <b>【建設業務】</b> サブアリーナ(横浜武道館) ・躯体工事 ・内装工事 ・外装工事 ・仕上げ工事 ・外構工事	<b>【建設業務】</b> ・内装工事 ・外壁劣化部補修工事 ・屋上防水工事 ・横浜市完工検査、消防完了検査、保健所検査  <b>【維持管理業務】</b> ・本館膨張タンク月次点検 ・エレベーター及び小荷物専用昇降機保守月次点検 ・自家用電気工作物の法定月次点検 ・台風への対応として、建屋の外観点検やルーフトレン、排水溝の点検清掃を実施  <b>【運営業務】</b> ・宿泊業務 実績(9~3月) 8,362人(計画 6,453人 計画比129.5%) ・体験学習業務 実績(9~3月) 8,278人(計画8,669人 計画比95.5%) ・アウトドアフィールド事業 実績(9~3月) 299人(自主事業につき計画値の設定なし) ・kokko事業 実績(9~3月) 3,942人(自主事業につき計画値の設定なし)	<b>【統括管理業務】</b> ・事業終了に向け、平成30年度にリストアップした残りの建物の保守工事を実施。 ・維持管理業務の引継ぎについて協議を行ない、修繕履歴、備品リスト、業者リストなどを作成。  <b>【維持管理業務】</b> ・建築物及び建築設備保守管理(法定点検や手入れ・部品交換) ・植栽外構維持管理 ・環境衛生及び定期清掃(受水槽・ガラスなど) ・安全管理(消防設備、電気工作物) ・設備等の日常定期点検(プール・給食室)  <b>【運営業務】</b> ・ゴミ収集車への対応 ・グラウンドの砂補充等 ・学校諸行事への対応(準備/片付け) ・防災訓練/地域諸活動への対応
令和元年度の財務状況						
※横浜国際平和会議場 全体の財務諸表を記載						
損益計算書						
売上高	710,953	2,583,859	8,629,717	0	976,856	98,354
経常利益	▲ 68,730	21,414	777,093	▲ 11,309	▲ 4,446	2,376
当期利益	21,006	14,987	328,970	▲ 11,501	▲ 4,520	1,780
貸借対照表						
総資産	31,273,411	6,621,935	38,425,664	9,092,046	981,944	92,221
総負債	31,398,839	6,488,768	26,431,948	9,015,229	976,533	52,343
純資産	▲ 125,428	133,167	11,993,715	76,817	5,410	39,877
うち資本金	50,000	100,000	7,565,000	1,000,000	10,000	10,000
所管局による評価						
事業面	・平成29年8月から建築本體工事に着工し、予定通りに令和2年3月31日しゅん工、引渡しを行った。	・旧改良土プラント解体撤去、既設5号焼却炉への水銀対策設備追加工事、汚泥燃料化施設への水銀対策設備追加工事が予定通り完了した。これは予定通りの進捗内容であり、計画通り進捗していると判断する。	・PFI事業に関しては、令和2年4月の開業に向けて、国内外へのPRやセールス活動を強化し、施設オペレーションについても今までのノウハウを生かし、受け入れの準備を万全に進めた。	・各業務とも概ね計画通り進捗している。	・予定どおり令和元年9月にリニューアルオープンし、運営を開始した。 ・日常点検及び月次点検等を行い、維持管理・運営上の大きな問題はない。	・毎月及び上・下半期の業務報告書を提出しており内容に問題はなかった。年度当初に予定を立てた所定の業務を確実に円滑に遂行している。 ・令和2年3月末のPFI事業終了に向けて、円滑な引継ぎを行った。引継ぎ資料の作成など遺漏なく完了した。
財務面	・しゅん工引渡しを行ったため、事業計画通り売上高を計上している。 ・税効果会計の適用により繰延税金資産を計上したことによって結果的に当期純利益がプラスとなった。 ・当初計画通り、建中優先ローンの借入を行い建設費等の支払いを行った。 ・消費税の税率変更(令和元年12月19日契約)および基準金利の改定(令和2年3月31日仮契約)による変更契約を締結している。	・良好な事業運営がなされ、財務状況に問題は無いと思われる。引き続き、金融機関との直接協定に基づいて財務チェックを行っていく。	・PFI事業については運営権設定前のため、開業前準備業務費の支出が主であった。 ・新型コロナウイルス感染症の影響による催事開催自粛で減収は免れなかったが、既存各施設の高稼働維持に加え、営業努力やコスト削減等により、当初計画を上回る売上・利益をあげることができた。	・特に大きな問題はない。	・特に大きな問題はない。	・SPCの財務状況は、当初の事業計画に沿って推移しており、財務面の問題はない。
その他	—	—	—	—	—	—